

Q2

## 市町村の規模が大きくなると 住民の声が届きにくくなりませんか？



平成16年4月1日現在、全国に3,100の市町村があります。

その大きさは、人口350万人の横浜市から人口200人程度の村まで様々です。

しかし、これらの市町村において、人口の「多い」「少ない」によって、住民の声が届かないという議論があるでしょうか。

10万都市の上田市・飯田市に暮らす皆さんからも、行政に声が届きにくいという話を聞いたことはありません。



### 新市はどうでしょうか。

お知らせ: 広報(月2回)、公民館報(月1回)、フォトニュース、FM放送、ホームページ、同報無線(臼田・浅科)、公用有線(望月)、佐久ケーブルテレビ 等々

ご意見: 市政懇談会、市政モニター、ホームページ、なんでもポスト、ISO(サービスの国際規格)アンケート、各種審議会 等々

\* 詳細は、合併協議会において逐次協議されます。

住民の皆さんの声が届く行政……市町村の大きさには関係ありません。

**新市がどのような形で広報公聴をしていくのかという“姿勢”が大切です。**

Q3

## 合併すると地域の歴史・文化・伝統が、 失われませんか？



現在の佐久市・臼田町・浅科村・望月町が合併により誕生してから、40年以上が経過しています。

合併を原因として、各地域の特色ある文化や伝統行事は失われてしまいましたか？

地域の文化や伝統行事は、皆さんの手によって今も引き継がれ、さらには新しい文化も生まれています。

一番大切なものは、この地域に暮らす皆さんの「自分たちの地域を愛する」という気持ちです。



地域の歴史・文化・伝統は、新しい市の貴重な財産です。  
私たちには、この貴重な財産を後世に引き継ぐとともに、  
新たな文化を育てていく責任があります。

合併すると、地域文化の保存・伝承活動などを支援するための基金が合併特例債で設置できる優遇措置があります。

\* 基金造成の可能額 約29億円

特色ある地域の集合体が“新しい市”の姿です。

4市町村に暮らす皆さんの“地域を愛する”気持ちがひとつになって

**地域の歴史・文化・伝統は、共に輝き、新たな文化も生まれます。**